

<b>安全・安心・生きがい部会の検討状況（報告）</b>
------------------------------

**審議テーマ：「地域防犯活動の推進」**

### 1 部会検討の経過

（説明者：松世部会長）

本テーマについて、9月4日、10月9日、10月27日に部会を開催した。

幸警察署生活安全課から区内の犯罪発生状況等について説明を受け、「地域防犯活動の推進」に係わる現状と課題について整理した。

また、現状と課題を踏まえ、具体的な検討事項として課題を「防犯活動のPR」と「青少年の防犯対策」にしぼって、どのような取組みが必要かを検討した。

本日の区民会議では、現状と課題、具体的な検討項目について説明し、全体で意見交換を行う。

### 2 「地域防犯活動の推進」の現状と課題

（説明者：荒井委員）

（1）幸区の特徴について

（2）犯罪発生状況について

（3）防犯活動の取組状況について

（4）見えてきた課題

### 3 検討事項、検討の方向性

（説明者：綱川委員）

犯罪が起きてからでは手遅れであり、未然に防ぐ必要がある。そのために、ひとりひとりの防犯に対する意識を高めていくことが重要。

防犯に対する意識を高めるためには、まずは個々人が関心をもつことが必要である。そこで、いかにして関心をもってもらおうかということを中心に検討を進める。

#### 検討事項

- （1）地域での防犯パトロール活動をもっと知ってもらうことが必要
- ・より効果的にPRするために、警察と協力して実施してはどうか
  - ・各種広報媒体の活用
- （2）青少年に対して関心をもつことが必要
- ・大人の意識を変える必要がある
  - ・あいさつから始めて打ち解ける
  - ・子どもの相談窓口をPRする



# 地域防犯活動の推進

---

幸区区民会議

安全・安心・生きがい部会



## 部会検討のまとめ

- 1 部会検討の経過
- 2 「地域防犯活動の推進」の現状と課題
- 3 検討事項、検討の方向性

## 1. 部会検討の経過

9、10月に部会を開催して、幸区内の犯罪発生状況などについて、幸警察署からの説明を受け、現状と課題を整理した。

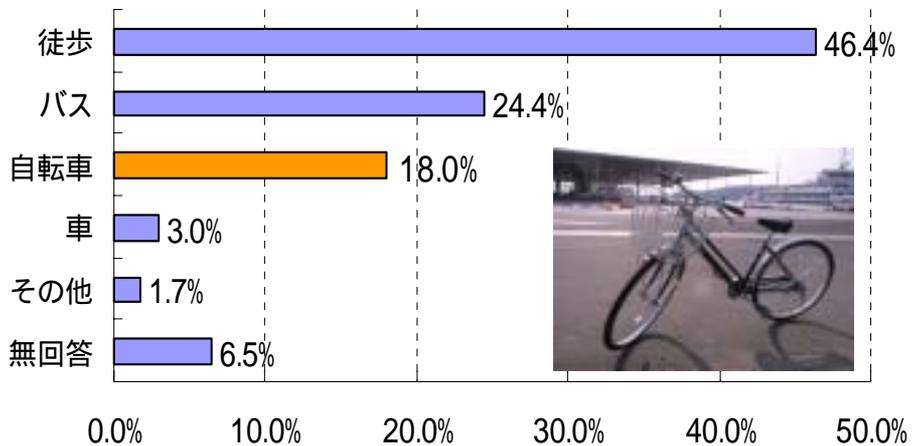
現状と課題をふまえ、具体的な検討事項と検討の方向性などを検討した。

## 2. 「地域防犯活動の推進」 の現状と課題



# 平らな地形で自転車利用が多い

平成19年度区民アンケート



## 川崎駅西口に大型商業施設が立地



## 高齢化の進行

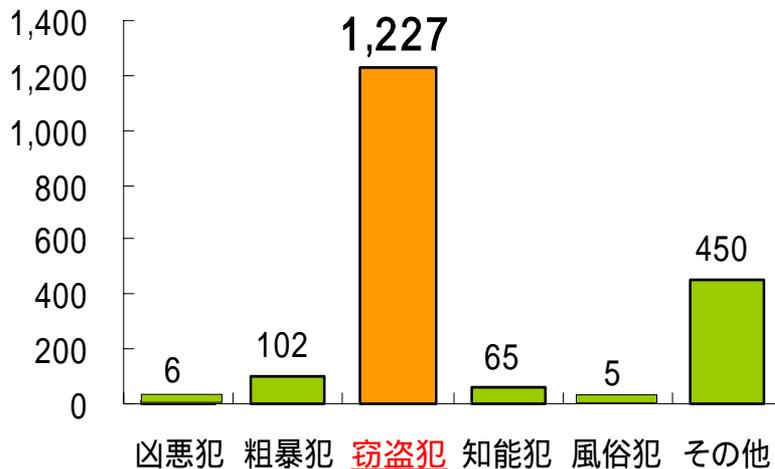
65歳以上の人口割合

18.8%で川崎区に次いで2番目

(平成20年10月1日現在)

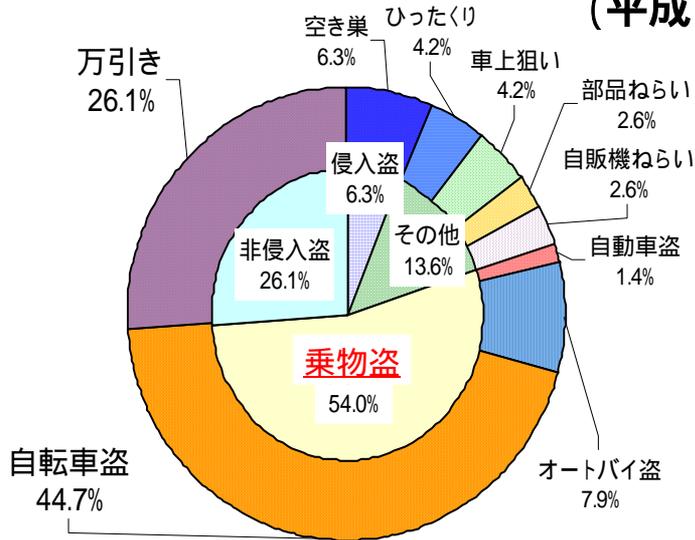
## 区内の刑法犯認知件数

(平成18年)



## 区内で認知された窃盗犯の主な内訳

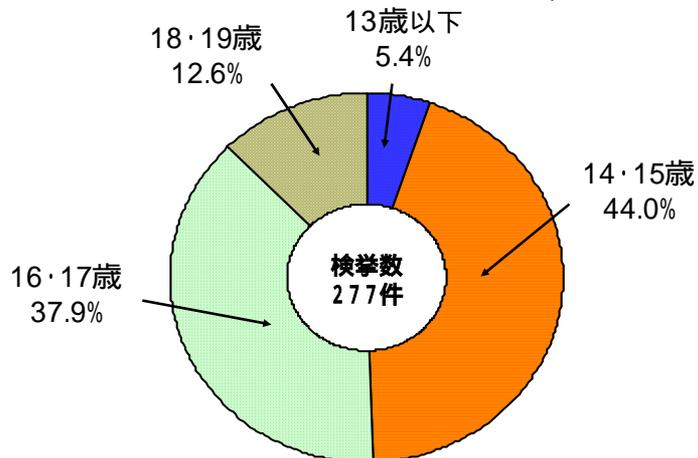
(平成19年)



神奈川県幸警察署生活安全課資料

## 区内で検挙された青少年の年齢内訳

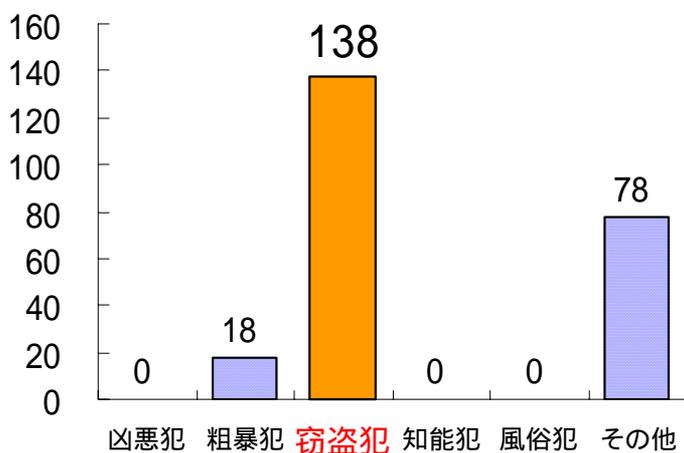
(平成18年)



神奈川県幸警察署生活安全課資料

## 区内で発生した青少年犯罪件数

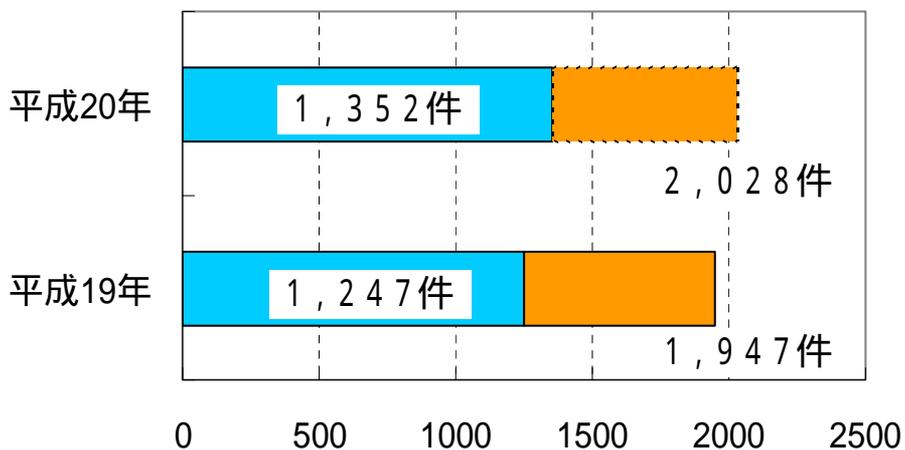
(平成18年)



神奈川県幸警察署生活安全課資料

## 区内の刑法犯認知件数

(平成20年8月現在)

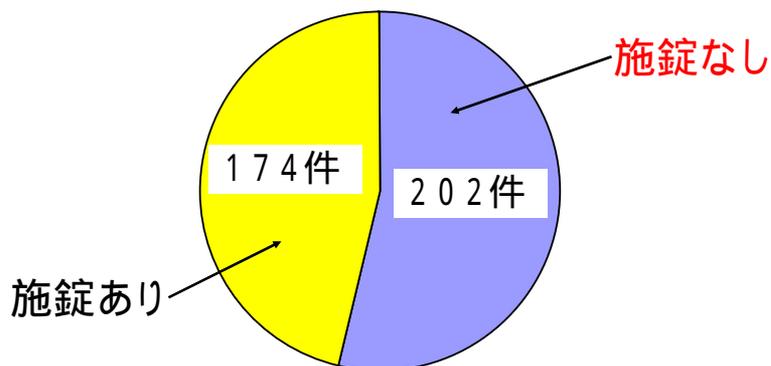


## 乗物盗の多発

(平成20年8月現在)

自転車盗 376件

(昨年比プラス45件)



## 万引きの発生

大型商業施設が顕著

高齢者の万引きが増加

## 振り込め詐欺の多発

神奈川県が全国ワースト1  
幸区内では42件発生し、被害額は  
約3,000万円(平成20年9月現在)

## 地域団体による防犯パトロール



## 地域団体による見守り活動



## 青色回転灯を装着した公用車 などによるパトロール



## 自転車盗難防止キャンペーン



## 振り込め詐欺防止キャンペーン



## 見えてきた課題

万引きが犯罪であるとの意識が希薄である。

店舗によっては、万引きを誘発する商品陳列になっている。

振り込め詐欺の手口が巧妙になっている。

防犯パトロール活動が見えづらい。

## 見えてきた課題

親や周囲の大人が子どもに対して無関心になっている。

近所の大人が声かけをして注意を行うべきだが、難しい。

子どもの相談相手がいない。

子どもへの声掛け事案がある。

## 取組の方向性

### 犯罪の未然防止

～ 犯罪は起きてからでは遅い～



まずは関心をもつことが重要

## 検討事項

(1) 地域で行われている防犯活動をもっと知ってもらうことが必要

< 検討の方向 >

- ・より効果的にPRするために、警察と協力して実施してはどうか
- ・各種広報媒体の活用

## 検討事項

(2) 青少年に対して関心をもつことが必要

< 検討の方向 >

- ・大人の意識を変える必要がある
- ・あいさつから始めて打ち解ける
- ・子どもの相談窓口をPRする